

入試年度	2024	入試方式	外国人（秋季）	課程	博士前期
研究科	文学	専攻	史学	領域（分野）	東洋史学
出題のねらい					
<p>I 課題文は中国の正史『隋書』で、初代文帝の妻として強い力をもった独孤皇后の列伝より有名な逸話を抜粋した。外国人入試であり、中国出身の方であれば知っているはずということで、出典は明記しつつ知識も問うた。あとは日本語の文章能力を判定した。</p> <p>II 課題文は中国近代に書かれた外交官の文章。近代化をすすめ、諸外国と折衝する際に必要な、当時の国際法に対する考え、主張を記している。</p> <p>III 語群から3つの用語を選択して説明するという問題。中国前近代・中国近現代・西アジアの用語から選択するもの。どれも基本的な用語であるため、ある程度の説明はできるはず。基礎的な知識の有無を確認する問題である。</p>					
解答・解答例または採点時の評価ポイント					
<p>I 課題文の大意がきちんと捉えられ、日本語の文章として表現されているか。あわせて基礎的な歴史的知識があるかどうかポイント。</p> <p>II 課題文の意味が正しく理解できているか。歴史上の用語も含めてきちんと訳出できているかがポイント。</p> <p>III 基本的な歴史用語について、研究において必要な最低限の知識があるかどうかを、きちんとした日本語で書けているかがポイント。</p>					